

## 平成 26 年度 定例研究会

---

日 時 : 平成 26 年 6 月 25 日 (水) 16:20～17:50

場 所 : 3 号館 3303R

報告者 : 「ナショナル・アイデンティティとジェンダー

－「慰安婦」問題解決運動の経験を通して－」

本学文学部英米語英米文学科教授 山下 英愛

## 2014 年度日中韓言語・文化に関する国際学術シンポジウム

---

平成 26 年 10 月 3 日（金）、2014 年度日中韓言語・文化に関する国際学術シンポジウム（1 号館 134 教室、13:00～18:00）を実施しました。



日 時 : 平成 26 年 10 月 3 日（金） 14:40～17:50

場 所 : 1 号館 134R

報告者 : 山崎豊子『約束の海』論 ―消された兵士の復活―  
徐 載坤(韓国外国語大学校)

文明論の視点から見る戦前期の中日関係  
邵 建国(北京外国語大学)

仏教寺院の復興と越境するネットワーク  
―雲南省でのフィールド調査から―  
長谷川 清(文教大学)

「自動詞+てしまう」と「他動詞+てしまう」の使い分けについて  
安 平鎬(韓国誠信女子大学校)

従属節の構文的機能と形態的機能  
— 様態修飾を表す「～V ように」節のアスペクト性に関する一考察 —  
于 日平(北京外国語大学教授)

因果関係の「ノダ」文をめぐって  
鄭 相哲(韓国外国語大学校)

複数を表す日本語の「～たち」と韓国語の「～?[t?l]」の対照研究  
朴 敏瑛(韓国外国語大学校)

漢語オノマトペの日韓両言語における受容と変化  
宮武利江(文教大)、権 景愛(韓国外国語大学校)

コメンテーター：馬小兵(北京大学)  
津留崎 由紀子(文教大学兼任講師)  
鈴木健司・阿川修三 (文教大学)



# 大学院付属言語文化研究所 2014年度 研究例会

ー世界の言語と文化について学ぶー

以下の要領で開催いたしますので、ふるってご参加ください。

報告者：「ナショナル・アイデンティティとジェンダー  
～「慰安婦」問題解決運動の経験を通して～」

文学部英米語英文学科教授 山下英愛

日時：平成26年 6月25日(水)

16:20～17:50

会場：3号館・3303教室

主催：大学院付属言語文化研究所



# 大学院付属言語文化研究所 2014年度 第2回 研究例会

ー世界の言語と文化について学ぶー

以下の要領で開催いたしますので、ふるってご参加ください。

報告者：「昭和研究会の思想と活動

ー1938-1939年を中心にー」

言語文化研究所 準研究員 李 晨

「原因・理由節における

ル形の性質と時間前後関係」

言語文化研究所 準研究員 唐 亮

日 時：平成27年 **1月28日(水)**

**16:20~17:50**

会 場：**3号館・3303教室**

主 催：**大学院付属言語文化研究所**